

平成18年（2006年）8月1日発行



学校法人 日本工業大学創立100周年

2007年6月の学園創立100周年まで、いよいよ1年をきった。学内外の方々のご協力をいただきつつ、年史の作成や百年記念館の建設も着々と進行中である。左は、無限を表す「メビウスの環」をモチーフとした、100周年記念シンボルマーク。

専門職大学院より

オープンキャンパスは好評かつ盛況

来年度は「豊作」の可能性も

大学院技術経営研究科 研究科長 村川 正夫

早いもので、第2期生36名が入学してから既に3ヶ月以上が経過した。「来年の事を言えば鬼が笑う」というのが、今年は来年度入学に関する問合せが、宣伝の甲斐もあってか、去年より早く、来年はひよっとするとの「豊作」の可能性があると、勝手な個人的（希望的）印象を抱いている。という事もあり、本年度はオープンキャンパスを1回増やし、計4回行う事にするとともに、第1回目を去年より早目に7月15日に行った。

第1回目は恒例の授業見学や講演会の他に、第1期生も卒業したので、「卒業生・在校生からみた本大学院への期待と実態」というパネルディスカッションを行い、好評かつ盛況のうちを終了する事が出来た。

さて、専門職大学院および（または）技術経営（MOT）という分野をめぐる世間一般の状況は今後どう進展するかという事は我々関係者にとって大変気になる事でもあり、これについて簡単に触れておこう。現在東京地区ではいわゆる技術経営系専門職大学院として、本学を始めとして芝浦工業大学、東京工業大学、東京農工大学、東京理科大学、早稲田大学の計6大学が文部科学省から設置認可されている。



これら6大学はまず日本社会全体へのMOTに対する認知度を高めていく事が必要であるとして、今後各大学MOTが協力していくための「技術経営系専門職大学院協議会」を05年9月に発足させた。初代会長には10校へと増大する可能性がある。東京6大学連合として

ては、05年9月27日に「動き出した技術経営・MOT 大学院」東京MOT6大学連合」と題したシンポジウムを開催した。今年はそのようなシンポジウムに代わる活動として、9月30日（土）に「MOT協議会大会（土）」に「MOT協議会大会合同説明会」が開催される予定である。

二、学内合同企業説明会

三、「就職支援システム」の活用

四、就職支援課職員

五、就職支援課職員

六、就職支援課職員

七、就職支援課職員

八、就職支援課職員

九、就職支援課職員

十、就職支援課職員

十一、就職支援課職員

十二、就職支援課職員

十三、就職支援課職員

十四、就職支援課職員

十五、就職支援課職員

十六、就職支援課職員

十七、就職支援課職員

十八、就職支援課職員

十九、就職支援課職員

二十、就職支援課職員

二十一、就職支援課職員

二十二、就職支援課職員

二十三、就職支援課職員

二十四、就職支援課職員

二十五、就職支援課職員

二十六、就職支援課職員

二十七、就職支援課職員

二十八、就職支援課職員

二十九、就職支援課職員

三十、就職支援課職員

三十一、就職支援課職員

三十二、就職支援課職員

三十三、就職支援課職員

三十四、就職支援課職員

三十五、就職支援課職員

三十六、就職支援課職員

三十七、就職支援課職員

三十八、就職支援課職員

三十九、就職支援課職員

四十、就職支援課職員

四十一、就職支援課職員

四十二、就職支援課職員

四十三、就職支援課職員

四十四、就職支援課職員

四十五、就職支援課職員

四十六、就職支援課職員

四十七、就職支援課職員

四十八、就職支援課職員

四十九、就職支援課職員

五十、就職支援課職員

五十一、就職支援課職員

五十二、就職支援課職員

五十三、就職支援課職員

五十四、就職支援課職員

五十五、就職支援課職員

五十六、就職支援課職員

五十七、就職支援課職員

五十八、就職支援課職員

五十九、就職支援課職員

六十、就職支援課職員

六十一、就職支援課職員

六十二、就職支援課職員

六十三、就職支援課職員

六十四、就職支援課職員

六十五、就職支援課職員

六十六、就職支援課職員

六十七、就職支援課職員

六十八、就職支援課職員

六十九、就職支援課職員

七十、就職支援課職員

七十一、就職支援課職員

七十二、就職支援課職員

七十三、就職支援課職員

七十四、就職支援課職員

七十五、就職支援課職員

七十六、就職支援課職員

七十七、就職支援課職員

七十八、就職支援課職員

七十九、就職支援課職員

八十、就職支援課職員

八十一、就職支援課職員

八十二、就職支援課職員

八十三、就職支援課職員

八十四、就職支援課職員

八十五、就職支援課職員

八十六、就職支援課職員

八十七、就職支援課職員

八十八、就職支援課職員

八十九、就職支援課職員

九十、就職支援課職員

九十一、就職支援課職員

九十二、就職支援課職員

九十三、就職支援課職員

九十四、就職支援課職員

九十五、就職支援課職員

九十六、就職支援課職員

九十七、就職支援課職員

九十八、就職支援課職員

九十九、就職支援課職員

一百、就職支援課職員

一百零一、就職支援課職員

一百零二、就職支援課職員

一百零三、就職支援課職員

一百零四、就職支援課職員

一百零五、就職支援課職員

一百零六、就職支援課職員

一百零七、就職支援課職員

一百零八、就職支援課職員

一百零九、就職支援課職員

一百一十、就職支援課職員

一百一十一、就職支援課職員

一百一十二、就職支援課職員

一百一十三、就職支援課職員

一百一十四、就職支援課職員

一百一十五、就職支援課職員

一百一十六、就職支援課職員

一百一十七、就職支援課職員

一百一十八、就職支援課職員

一百一十九、就職支援課職員

一百二十、就職支援課職員

一百二十一、就職支援課職員

一百二十二、就職支援課職員

一百二十三、就職支援課職員

一百二十四、就職支援課職員

一百二十五、就職支援課職員

一百二十六、就職支援課職員

一百二十七、就職支援課職員

一百二十八、就職支援課職員

一百二十九、就職支援課職員

一百三十、就職支援課職員

一百三十一、就職支援課職員

一百三十二、就職支援課職員

一百三十三、就職支援課職員

一百三十四、就職支援課職員

一百三十五、就職支援課職員

一百三十六、就職支援課職員

一百三十七、就職支援課職員

一百三十八、就職支援課職員

一百三十九、就職支援課職員

一百四十、就職支援課職員

一百四十一、就職支援課職員

一百四十二、就職支援課職員

一百四十三、就職支援課職員

一百四十四、就職支援課職員

一百四十五、就職支援課職員

一百四十六、就職支援課職員

一百四十七、就職支援課職員

一百四十八、就職支援課職員

一百四十九、就職支援課職員

一百五十、就職支援課職員

一百五十一、就職支援課職員

一百五十二、就職支援課職員

一百五十三、就職支援課職員

一百五十四、就職支援課職員

一百五十五、就職支援課職員

一百五十六、就職支援課職員

一百五十七、就職支援課職員

一百五十八、就職支援課職員

一百五十九、就職支援課職員

一百六十、就職支援課職員

一百六十一、就職支援課職員

一百六十二、就職支援課職員

一百六十三、就職支援課職員

一百六十四、就職支援課職員

一百六十五、就職支援課職員

一百六十六、就職支援課職員

一百六十七、就職支援課職員

一百六十八、就職支援課職員

一百六十九、就職支援課職員

一百七十、就職支援課職員

一百七十一、就職支援課職員

一百七十二、就職支援課職員

一百七十三、就職支援課職員

一百七十四、就職支援課職員

一百七十五、就職支援課職員

一百七十六、就職支援課職員

一百七十七、就職支援課職員

一百七十八、就職支援課職員

一百七十九、就職支援課職員

一百八十、就職支援課職員

一百八十一、就職支援課職員

一百八十二、就職支援課職員

一百八十三、就職支援課職員

一百八十四、就職支援課職員

一百八十五、就職支援課職員

一百八十六、就職支援課職員

一百八十七、就職支援課職員

一百八十八、就職支援課職員

一百八十九、就職支援課職員

一百九十、就職支援課職員

一百九十一、就職支援課職員

一百九十二、就職支援課職員

一百九十三、就職支援課職員

一百九十四、就職支援課職員

一百九十五、就職支援課職員

一百九十六、就職支援課職員

一百九十七、就職支援課職員

一百九十八、就職支援課職員

一百九十九、就職支援課職員

二百、就職支援課職員

二百零一、就職支援課職員

二百零二、就職支援課職員

二百零三、就職支援課職員

二百零四、就職支援課職員

二百零五、就職支援課職員

二百零六、就職支援課職員

二百零七、就職支援課職員

二百零八、就職支援課職員

二百零九、就職支援課職員

二百一十、就職支援課職員

二百一十一、就職支援課職員

二百一十二、就職支援課職員

二百一十三、就職支援課職員

二百一十四、就職支援課職員

二百一十五、就職支援課職員

二百一十六、就職支援課職員

二百一十七、就職支援課職員

二百一十八、就職支援課職員

二百一十九、就職支援課職員

二百二十、就職支援課職員

二百二十一、就職支援課職員

二百二十二、就職支援課職員

二百二十三、就職支援課職員

二百二十四、就職支援課職員

二百二十五、就職支援課職員

二百二十六、就職支援課職員

二百二十七、就職支援課職員

二百二十八、就職支援課職員

二百二十九、就職支援課職員

二百三十、就職支援課職員

二百三十一、就職支援課職員

二百三十二、就職支援課職員

二百三十三、就職支援課職員

二百三十四、就職支援課職員

二百三十五、就職支援課職員

二百三十六、就職支援課職員

二百三十七、就職支援課職員

二百三十八、就職支援課職員

二百三十九、就職支援課職員

二百四十、就職支援課職員

二百四十一、就職支援課職員

二百四十二、就職支援課職員

二百四十三、就職支援課職員

二百四十四、就職支援課職員

二百四十五、就職支援課職員

二百四十六、就職支援課職員

二百四十七、就職支援課職員

二百四十八、就職支援課職員

二百四十九、就職支援課職員

二百五十、就職支援課職員

二百五十一、就職支援課職員

二百五十二、就職支援課職員

学生代表と柳澤学長の第4回懇親昼食会を開催

自治会と大学が協力してカレッジライフの充実を

5月11日（木）、学生代表と柳澤学長との懇親昼食会が開催された。本昼食会は、学生と大学側とのコミュニケーションを深めることを目的として定期的に開催されており、今回で4回目。毎回、活発な意見交換が行われている。序盤は学生側にも緊張が感じられたが、終始、和やかな雰囲気で行われていった。

今回の懇親昼食会の出席者は、学生代表として学生自治会の各委員長を務める8名（下表参照）、大学側が柳澤学長、梅崎学生支援部長、吉見学生支援課長である。

新年度で学生側が新しい顔ぶれになったことから、まずは自己紹介から始まった。それぞれ所属学科、出身高校、所属委員会の活動内容などについて述べ、時折、学長や学生支援部長から踏み込んだ質問もあった。

学生からの要望が、少しずつ実現している

し、可能な限り対応していきたい、という姿勢である。これを受けて、中央執行委員会委員長の開澤君から、具体的な要望が提起された。現在、一部の体育系クラブ



前列左から吉見課長、開澤君、柳澤学長、梅崎部長
後列左から金子君、浅子君、齋藤君、平田君、伊勢谷君、永瀬君、柴田君

という内容である。これに対し学長は次のように回答した。「入学式や卒業式などの行事を考えても、そのような施設があることは望ましいが、他にも色々」と要望があるため、残念ながら優先順位はあまり高いとは考えてはいない。しかし、学生の立場に立つて考えることは重要であり、こうした昼食会などを活用して、色々な意見を聞かせて欲しい。

また、現在建設中で来春4月末ごろ完成予定の「百年記念館」について、その目的、規模、建設場所などに關して、在学生の間で認知度が低いことは、大学側学生側とも懸念している問題であった。今後、もっと積極的に、分かりやすくアピールしていく必要がある、という話題も出た。

「ものづくり塾」等の活動紹介

所長 宮澤 肇



スチューデントラボにおける活動風景

「ものづくり塾」はスチューデントラボにおけるイベントのひとつで、希望者を募って毎年春・秋に開催されている。テーマはパソコン組立、インターネットサ

ー組立、インターネットサの構築、レゴマインドストームに挑戦、デジタル時計・ラジオコンカー・ホバークラフトの製作等と様々な

である。いずれもラボスタッフならびに運営委員の諸先生の指導のもと、遊び心を大切に、そして安全教育にも重点をおきつつ楽しく体験学習している。テーマによっては素材と工具類のみを提供し、設計から製作まで、作業時間を含めて自由に行っている（ラボは朝10時から夜8時まで利用できる）。製作物によっては大学祭に出品し、デモンストラーションを行っている。その他、近隣との交流を目的とした「親子ものづくり教室」や「中学生科学教室」も実施している。また、本学「7つの工房教育」の中の「ものづくり入門工房」の拠点として、全学科を対象に、プライマリー教育を展開している。

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集！ （日本工業大学大学院 社会人特別選抜）

◆大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

＊機械工学専攻 ＊電気工学専攻 ＊建築学専攻
＊システム工学専攻 ＊情報工学専攻

■平成19年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日 程			
	受付期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成18年9月21日～28日	10月5日	10月13日	平成19年1月26日
二次募集	平成19年2月14日～21日	2月28日	3月5日	平成19年3月13日

お問い合わせ先：教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL <http://www.nit.ac.jp>

■学部入試日程表

出願方式	日 程			
	出願期間	試験/面接	合格発表日	入学手続締切日
専門高校指定入試 (推薦A 工業科)	9/25 (月)～ 9/29 (金)		10/14 (土)	第1回目10/30 (月) 第2回目1/15 (月)
専門高校公募入試 (推薦B 工業科) (第1回)	8/28 (月)～ 9/19 (火)	9/22 (金)・9/26 (火)～ 9/30 (土)のうち1日	10/14 (土)	第1回目10/30 (月) 第2回目1/15 (月)
専門高校公募入試 (推薦B 工業科) (第2回)	11/20 (月)～ 12/9 (土)	12/16 (土)	12/22 (金)	1/15 (月)
AO入試	第1期	10/16 (月)～ 11/4 (土)	11/11 (土)	11/20 (月) 第2回目1/15 (月)
	第2期	11/24 (金)～ 12/4 (月)	12/9 (土)	12/16 (土) 第2回目1/15 (月)
	第3期	2/26 (月)～ 3/10 (土)	3/16 (金)	3/23 (金) 3/28 (水)
一般入試	1/4 (木)～ 1/27 (土)	2/3 (土) 全学科 2/4 (日) 全学科 2/5 (月) 全学科 受験日自由選択制	2/10 (土)	2/19 (月)
(センター利用入試A) (センター利用入試B)	1/4 (木)～2/3 (土)		2/10 (土)	2/19 (月)
	2/19 (月)～3/2 (金)		3/10 (土)	3/19 (月)

※普通高校の推薦もあります。

お問い合わせ先：教務部 入試室
TEL 0480-33-7676 ☎ 0120-250-267

AED導入

保健体育センター長 酒井 誠

AED（自動体外式除細動器）とは、電気ショックが必要な心臓の状態を判断し、対応できる機械である。



学内2ヶ所に設置されたAED

突然死の原因は、ほとんど心臓疾患である。心室細動になると、心臓が痙攣し、血液が全身に送られなくなり命を落としてしまう。人は心臓が止まってから3分の呼吸が止まって10分放置しておくと、50%が死亡する。救命が1分遅れるごとに

■学内見学一覧（入試室）

オープンキャンパス以外にも、本学は随時見学を受け入れている。4月以降の学内見学は下表の通りである。

No.	月 日	対象	学校名	参加者
1	4月28日	3年生	佐野松陽高等学校	40名
2	5月 9日	2年生	日本工業大学附属東京工業高等学校	159名
3	5月13日	1年生、保護者	日本工業大学附属中学校	150名
4	5月16日	2年生	日本工業大学附属東京工業高等学校	221名
5	5月26日	3年生	埼玉県立浦和工業高等学校	20名
6	6月 2日	3年生	埼玉県立川越工業高等学校	40名
7	6月 2日	3年生	埼玉県立熊谷工業高等学校	78名
8	6月 3日	2年生	大宮開成高等学校	80名
9	6月 7日	2年生	茨城県立下館工業高等学校	41名
10	6月 7日	2・3年生、保護者	埼玉県立春日部工業高等学校	40名
11	6月17日	2・3年生、保護者	安田学園高等学校	30名
12	6月23日	3年生	茨城県立勝田工業高等学校	31名
13	6月28日	3年生	東京都立蔵前工業高等学校	68名
14	6月28日	1年生	日本工業大学附属東京工業高等学校	211名
15	6月30日	1年生	日本工業大学附属東京工業高等学校	214名

新たな試み「ミニオープンキャンパス」開催！

6月10日（土）、今年初めての試みとしてミニオープンキャンパスが開催された。当日は天候に恵まれ、多数の高校生や保護者の方が参加。午前・午後の2部構成で、参加者の希望にあわせて選べる分野体験やグループガイダンスなどが好評だった。

オープンキャンパス今後の開催日程

8月19日(土)・9月9日(土)

いずれも11:00～

施設・研究室見学、模擬授業、入試説明・相談会、AO入試相談会、SLの運転、学食無料体験などを実施

ミニオープンキャンパス10月7日(土)開催

午前の部 10:00～／午後の部 14:00～

今後の主な学生行事

夏から秋にかけて行われる主な学生行事を紹介する。ぜひ、積極的に参加してほしい。(学生支援課)

夏祭り大会 8月1日（火）～2日（水） 前期試験最終日翌日から2日間にかけて行われる。今年も体育館前には櫓が組み上げられ、その周りで盆踊りや浴衣コンテストなど様々なイベントを企画している。
体育会フレッシュマンキャンプ 8月4日（金）～6日（日）
文化団体連合会フレッシュマンキャンプ 9月8日（金）～10日（日） 体団と文団に所属している1年生を対象に、普段のクラブ活動では体験できない他のクラブとの交流を図るための企画。今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。
第38回若杉祭 11月3日（金）～5日（日） 今年のテーマは“結・y u i”に決定した。今、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛り上げようと企画中である。オープニングパレードから最終日の火花まで見どころ満載なので、是非、足を運んでもらいたい。



野口助教(左端)の案内でセンター内を見学するNITEC参加者

積極的に進む 産学連携の取り組み

●6月14日(水) NITEC(ナITEック) 埼玉産学交流会が「先端研」訪問

同交流会は、地域の意欲

本学では4月に「産学連

携起業教育センター(セン

ター長 上原健一教授)を

開設以来、積極的に産学連

携事業に取り組んでいる。

その一端として6月に開催

された交流会を紹介する。

最先端の装置や機器類が

導入されたセンター内を見

学後、米航空宇宙局(NASA)

最上級エンジニアで

同センター長の三好和壽教

2006 NEW環境展 今年で5年連続の参加、3研究室から出展



左:来場者に説明をする学生 右上:本学ブース全景 右下:電気自動車

今年も5月23日から26日まで、NEW環境展が東京ビッグサイトに開催され、本学も5年連続で出展した。

本学の展示ブースでは、昨年に引き続き機械工学科・佐藤茂夫研究室の「メタン発酵処理による油脂系廃棄物からのエネルギー回収」と電気電子工学科・

管原和士研究室の太陽電池と燃料電池で駆動する「電気自動車」を出展。また今回新たにシステム工学科・星野坦之研究室からは電気泳動方式の「新しい書き換え媒体」を展示していた。

展示ブースのスタッフは各研究室所属の学生が担当し、来場者の質問に熱心に対応していた。



学生環境推進委員会主催 第5回講演会
ライフサイクルで「エコとエゴ」
考えてみよう

学生環境推進委員会委員長機械工学科4年
(埼玉県立行田工業(現進修館) 高校出身) 金子裕介

6月30日(土) 3号館3・325教室において学生環境推進委員会主催第5回講演会を実施した。講師は、今年4月から本学システム工学科に着任した八木田浩史助教(写真)。先生は、



産学交流セミナーで挨拶する原副学長

●6月21日(水)「産学交流セミナーin日本工業大学」

埼玉りそな主催で開催

同セミナーは、埼玉りそ

な銀行と(財)埼玉りそな産業協力財団の主催によるもので、同銀行の取引先企業に大学施設を紹介し、ビジネスマッチングを促そうという試みの第一弾である。本学学友会館を会場に、63企業81人が参加した。

3部構成で、第1部は本学を紹介するセミナー、第2部は4グループに別れて機械工作センター、博物館等を見学、第3部でビジネスマッチングが行われた。



高橋明遠教授

電気設備学会から高橋教授に論文奨励賞 —CG画像を使ったモデリング効果の検討—

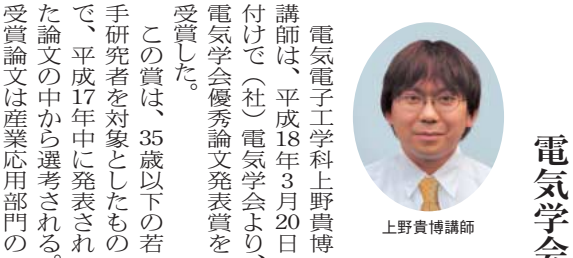
電気電子工学科高橋明遠教授は、本年6月に電気設備学会から、第17回論文奨励賞を受賞した。

受賞論文のテーマは「CG画像を使ったモデリング効果の検討」で、愛知工業大学・坪井常世教授他との共同研究である。

照明条件を設定して実験効果の検討」で、愛知工業大学・坪井常世教授他との共同研究である。

照明条件を設定して実験効果の検討」で、愛知工業大学・坪井常世教授他との共同研究である。

照明条件を設定して実験効果の検討」で、愛知工業大学・坪井常世教授他との共同研究である。



上野貴博講師

上野貴博講師が 電気学会優秀論文発表賞受賞

電気電子工学科上野貴博講師は、平成18年3月20日付けで(社)電気学会より、電気学会優秀論文発表賞を受賞した。

この賞は、35歳以下の若手研究者を対象としたもので、平成17年中に発表された論文の中から選考される。受賞論文は産業応用部門の

回転機研究会で発表されたものであるが、当部門からは13件が表彰された。

受賞論文のテーマは「直流機主極極大時主極のチョーキング解析」で、大形直流機の主極形状を変化させた場合の磁界分布を有界要素法(FEM)によって求め、主極形状設計に関わる形状最適化についてまとめたものである。

近年の解析ツールを用いることにより、短時間でモデリングが可能となり、設計分野を受け持っている。

NEO補助申請
「本館照明器具リニューアル工事」

本館のリニューアル工事完了後10年が経過し、機械器具等の更新時期が来ている。本工事は、単なる器具交換ではなくISO的観点

から省エネに繋げるべく高効率タイプの物に更新するもので、NEDOに事業費の補助申請を実施した。エネルギー削減量としては、

照明用電力の24%(本館総電力の10.4%)を削減し省エネに寄与しようとするもの。総事業費は約6000万円以内、補助申請額は1/3の2000万円である。

ISOサーベイランス受審

6月8・9日、サーベイランスを受審し、EMSの有効性、目的・目標の達成改善状況について、「向上」の評価を得た。以下は審査所見の概要である。

環境教育・環境情報発信への積極的取り組み ②環境負荷低減に向けた積極投資 ③外部コミュニケーションの活発な活動継続 ④学内ネット利用による情報の一元化等々高い評価を得た。

●観察事項4項目 緊急事態の想定、化学物質の使用・保管の管理 効果的な



並木勝義君

張替寛樹君

精密工学会主催「小さなロボットのコンテスト」で 張替君、並木君がアイデア賞を受賞

去る3月18日、精密工学会が主催するロボットコンテスト「小さなロボットのコンテスト」において、本学学生がアイデア賞を受賞

した。同コンテストはマイクロメカニズムを研究している大学・研究機関・企業などから、延べ130チーム以上が出場し、20mm角の立方体に収まるように設計されたマイクロロボットの「相撲マイクロメカニズム部門」で並木勝義君(同学科3年(当時)・長坂研究室所属、狭山工業高校出身)が卓越したアイデアを盛り込んだロボットが評価され、アイデア賞に輝いた。



受賞した学生

今年5月に行われたワールドエコノムープ(WEM)大会の鉛蓄電池部門オープンクラスの部で、埼玉大学・日本工業大学共同研究

(大滝・長坂研究室)チームがマシン「ペーパーガッツ」で出場、コストパフォーマンス賞を受賞した。

2006 WEMコストパフォーマンス賞受賞 昨年はカーグラフィック賞を受賞、2年連続の快挙

激しい風雨にもかかわらず、完走したことが高く評価された。また、本マシン駆動部と舵取り機構の製作は、本学機械工学科4年の並木勝義君(埼玉県立狭山工業高等学校出身)が担当したが、紙の強度を補う独創的な舵取りリンク機構も審査員に高く評価され、2年連続の受賞となった。さらに、古川バッテリー賞も同時に受賞した。

■学内見学会・視察の受け入れ

見学会・視察は、多様な方々と直接コミュニケーションできる絶好の場と考え、積極的に開催、受け入れを行っている。太陽光発電・風力発電システムなどの環境施設、環境保全活動などを見学するため、ISO-6年度(平成17年10月~平成18年9月)は現在までに22件(内、海外より2件)572名が本学を訪れている。

年月日	見学・視察者
10月15日	宮代町環境保全会(60名)
10月20日	川崎市民アカデミー(80名)
10月25日	シャープ太陽光見学(2名)
11月18日	茨城県立総和工業高校(26名)
12月1日	シャープ太陽光見学ナイジェリア政府(10名)
12月2日	他大学(私工大11大学)(17名)
12月8日	笠原小学校(7名)
12月9日	韓国企業「京機エンジニアリング」(13名)
1月22日	後援会千葉県支部(30名)
2月3日	栃木県立真岡高校生徒(80名)
2月14日	電気設備学会(1名)
2月22日	高苑技術学院(台湾)(5名)
2月23日	太陽光ネットワーク埼玉(3名)
3月24日	つくば工科高校(15名)
4月22日	太陽光ネットワーク埼玉(35名)
5月21日	後援会総会一般会員(80名)
5月26日	浦和工業高校(20名)
6月5日	日テレ「鉄腕ダッシュ」取材撮影(8名)
6月6日	フレッシュマンゼミ(情報・丹羽先生)(23名)
6月13日	JFE藤原氏(2名)
6月15日	フレッシュマンゼミ(機械・丹澤先生)(25名)
6月23日	茨城県立勝田工業高校(30名)

2年目の学修支援センター

学修支援センター長 有賀幸則



和やかな雰囲気で行われる学修相談

2年目を迎えた学修支援センターは、昨年と少々違っていています。まず、センターを訪れる学生層の変化です。1年生がほとんどだった昨年に比べ今年度は2年生の数が増加し、比率がほぼ同じになりました。センター全体の訪問者数も約2倍になりました。4月に相談にやって来た新入生に対応するのは、昨年同じような問題を抱えてセンターを訪れた先輩たちです。先輩の経験談は、新入生を和やかにさせます。次は、学内におけるセンターの存在意義が理解されるようになり、教務課、学生支援課、経理課、学生相談室との連携が密になり、各学科の先生方とも連携が速やかになりました。教務課、学生支援課、経理課、学生相談室との連携が密になり、各学科の先生方とも連携が速やかになりました。教務課、学生支援課、経理課、学生相談室との連携が密になり、各学科の先生方とも連携が速やかになりました。

第7回ホームカミングデー

開催のお知らせ
ホームカミングデー実行委員会



皆で合唱をするOB（昨年の様子）

第7回ホームカミングデー（同窓会）を大学祭開催期間中の11月4日（土）に開催いたします。卒業後10年・20年・30年の皆様にはご案内を送いたします。当日は学内見学ツアー、パーティを企画しております。皆様お誘いあわせの上ご参加ください。



パーティーの前に参加者全員で記念撮影（昨年の様子）

第10回スターリングテクノロジー 11/18(土)7つの種目を競う



昨年、本学から参加した人間乗車型スターリング車

第10回スターリングテクノロジーが、平成18年11月18日（土）に、本学で開催される。低公害で熱効率の高い夢のエンジンとされるスターリングエンジンで、性能とアイデアを競う。昨年は全国から、小学校から大学、社会人まで196チームが参加。本学は奨励賞を受賞した。宙返り耐久ミニクラスや人間乗車クラス、乾電池で冷却するクーラークラスなど、7つの競技がある。9月11日まで受付なので、多くの方の参加を期待している。

宮代町立須賀中學生、 『2daysチャレンジ』 本学食堂で体験学習

5月17日・18日の2日間、宮代町立須賀中学校2年生の4名（男子2名、女子2名）が、社会体験学習「2daysチャレンジ」の一環として、本学で体験学習を行った。

これは「生徒一人ひとりが働くことの尊さを知るとともに、自らの進路についても更に深く学び、学ぶことができるように」との目的をもって、須賀中学校では積極的に取り組んでいるもので、素直に書かれていた。

生徒達は、わずか2日間ではあったが、普段の学校での学習では得られない、貴重な体験をしたことだろう。

6月の2日間を使ってISO14001の定期サーベイランスを受審した。過去1年間の環境管理活動（EMS）の内容に対し、第三者機関が検証するもので、総合評価は「向上」であった。ISO14001の認証は本年9月末に6年を経過することになる。その効果は、数値で単純に表わすことができる。

人事異動

【退職】（6月30日付）
◆福澤 浩課長（財務部用度・管財課）
◆菅原 直樹事務職員（教務部教務課）

国外出張（4月～7月）

◆梅崎栄作教授（機械工学科）／出張先「カナダ（4/24～5/1）／目的「2006カナダ研修所修了式及びLCCコンボケーション」出席
◆神林靖助教授（情報工学科）／出張先「米国（4/27～5/13）／目的「ニューダ

（5/5）／目的「オハイオ州立トレド大学におけるソフトウェア開発生産性についての共同研究打合せ」◆桑原文夫教授（建築学科）／出張先「台湾（5/1～5/5）／目的「杭の鉛直荷重試験に関するセミナー参加」◆田中隆治助教授（学修支援センター）／出張先「カナダ（5/4～5/11）／目的「山梨県北杜市の中学生海外派遣事業の現地指導及び多文化教育の実践」◆竹内貞雄教授（先端材料技術研究センター）／出張先「米国（5/13～5/21）／目的「ニューダ

（5/22～5/28）／目的「国際レジャーシンポジウムにおける運営、座長及び論文発表」◆伊藤 隆一教授（建築学科）／出張先「ウズベキスタン（5/26～5/30）／目的「ウズベキスタンの風土と建築調査」◆鈴木敏正教授（システム工学科）／出張先「スウェーデン（6/2～6/11）／目的「第1回民族学化物質半導体成長国際シ

（6/11～6/18）／目的「第6回都市気候に関する国際会議における論文発表」◆波多野純教授（建築学科）／出張先「台湾（6/11～6/16）／目的「第26回（台湾）中日工程技术研討会における講演及び討論」◆柳澤章学長／出張先「ベルギー（6/16～6/21）／目的「ベルカトル社訪問」◆藤田則夫部長（総務部）／出張先「ペルギー（6/16～6/21）／目的「ベルカトル社訪問」◆正道寺勉助教授（システム工学科）／出張先「台湾（6/20～6/24）／目的「第36回コンピュータと経営工学に関する国際会議における研究発表」◆神力正宣教授（情報工学科）／出張先「カナダ（7/1～7/8）／目的「アンテナ及びレ

編集後記

6月の2日間を使ってISO14001の定期サーベイランスを受審した。過去1年間の環境管理活動（EMS）の内容に対し、第三者機関が検証するもので、総合評価は「向上」であった。ISO14001の認証は本年9月末に6年を経過することになる。その効果は、数値で単純に表わすことができる。

後援会だより

定期総会報告

去る5月21日（日）午後1時より、大学学友会館ホールにて平成18年度後援会定期総会が開催された。議事は、学長並びに後援会長の挨拶の後、梅宮副会長を議長に進行した。

新図書館へ「栃木文庫」寄贈

現在図書館では、後援会（在校生父母の組織）から寄贈された図書を受納した。学園創立100周年の記念事業として建築が進められている新図書館に移り、次第、「栃木文庫」（仮称）を新設する予定である。新図書館では「栃木文庫」の開館により、蔵書の一層の充実をはかる次第である。

環境配慮の観点から再生紙を使用しております。